

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

	警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- ・お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
- 気をつけていただく内容です。
- してはいけない内容です。
- 実行しなければならない内容です。

■吊上げ時のご注意

警告	
本品を吊上げる場合にはアイボルト(RD71-12)を使用し、必ず4ヶ所で吊上げ、45°以上の角度で均一な荷重にしてください。2ヶ所での吊上げや45°未満の吊上げ角度、搭載可能質量オーバーは落下の恐れがあります。 R形アルミラック 吊上げ時の搭載可能質量:250kg	本品を連結した状態で吊上げないでください。変形・落下の恐れがあります。

■キャスター取付時のご注意

注意	
ラック全体の質量を考慮してキャスターを選定してください。許容荷重を超えたり、追加加工などによって指定以外のキャスターを使用しますと、変形・破損・転倒する恐れがあります。 〔プレートタイプ〕 〔ねじ込みタイプ〕	キャスター取付けの際には、変形・破損防止のためラックのドア、側板、背面板を外し、周囲の安全を確認の上、ラック本体を横倒ししてください。 また、取付作業は3人以上で行ってください。少ない人数で作業すると、けがの原因になる恐れがあります。

■設置時のご注意

警告	
感電防止のため、接地(アース)してください。 アースせよ	重量物は低い位置に設置し、重心位置を低くしてください。重量物をスライドレール等により引出した場合、転倒の恐れがあります。また、引出しを2段以上同時に引出さないでください。
耐震対策のためにM12 以外のアンカーボルトで固定しないでください。転倒・変形の恐れがあります。	

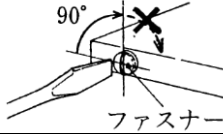
■換気扇使用時のご注意

⚠ 警告			
 回転物注意	回転部に指や異物を入れないでください。けがの恐れがあります。		保守・点検作業は必ず電源を切り、換気扇が停止してから行ってください。けがの原因になります。
	必ずフィンガーガードを取付け、外さないでください。けがの原因になります。		

■コンセントバー・ファクトライン使用時のご注意

⚠ 警告			
 分解禁止	分解、改造をしないでください。感電や火災の原因になります。	 発火注意	プラグ付コードを引張らないでください。接触不良により火災の原因になります。
	定格容量を超えないでご使用ください。超えた場合、焼損や火災の原因になります。		ファクトラインは、プラグを逆向きに接続しないでください。接触不良により火災の原因になります。
 発火注意			

■使用上のご注意

⚠ 注意			
	天井面へは局所的な荷重をかけないでください。変形の恐れがあります。		取付けに際して、ねじをしっかりと締付けてください。ねじの締付が不十分だと、落下・破損の原因になります。また、締付けすぎの場合は、ねじタップを破損する恐れがあります。 ※但し、Sタイトねじにおいて締付時の初期トルク値はこの限りではありません。
	ラック本体には、落下等の強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコミや歪みが発生し、強度の劣化となる恐れがあります。		
	ハンドル、側板などの鍵について、施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。無理に引抜くと、キーが破損する恐れがあります。		
	ハンドルの着脱はドアを外して作業をしてください。取付けたまま作業をしますと、部品、ねじなどの落下によりけがをする恐れがあります。		台板取付け用ファスナーは 90° 以上回さないでください。ださい。90° 以上回すと破損の原因になります。  ファスナー
	機器をマウントアングルのみで固定する場合は、機器の質量が 1U(1H)あたり 5kg 以下としてください。5kg を超える場合は L 型レールなどを併用し、固定してください。 ※機器の質量が 5kg 以下であっても形状(奥行寸法)や重心位置、施工時の取扱いなどによって機器後部が下がる場合があります。		
			次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。 ・高温、高湿となる場所・腐食性ガスのある場所 ・可燃性ガスのある場所・塵埃やオイルミストが多い場所 ・振動、衝撃のある場所・ノイズ、電界、磁界の強い場所 ・水滴のかかる場所

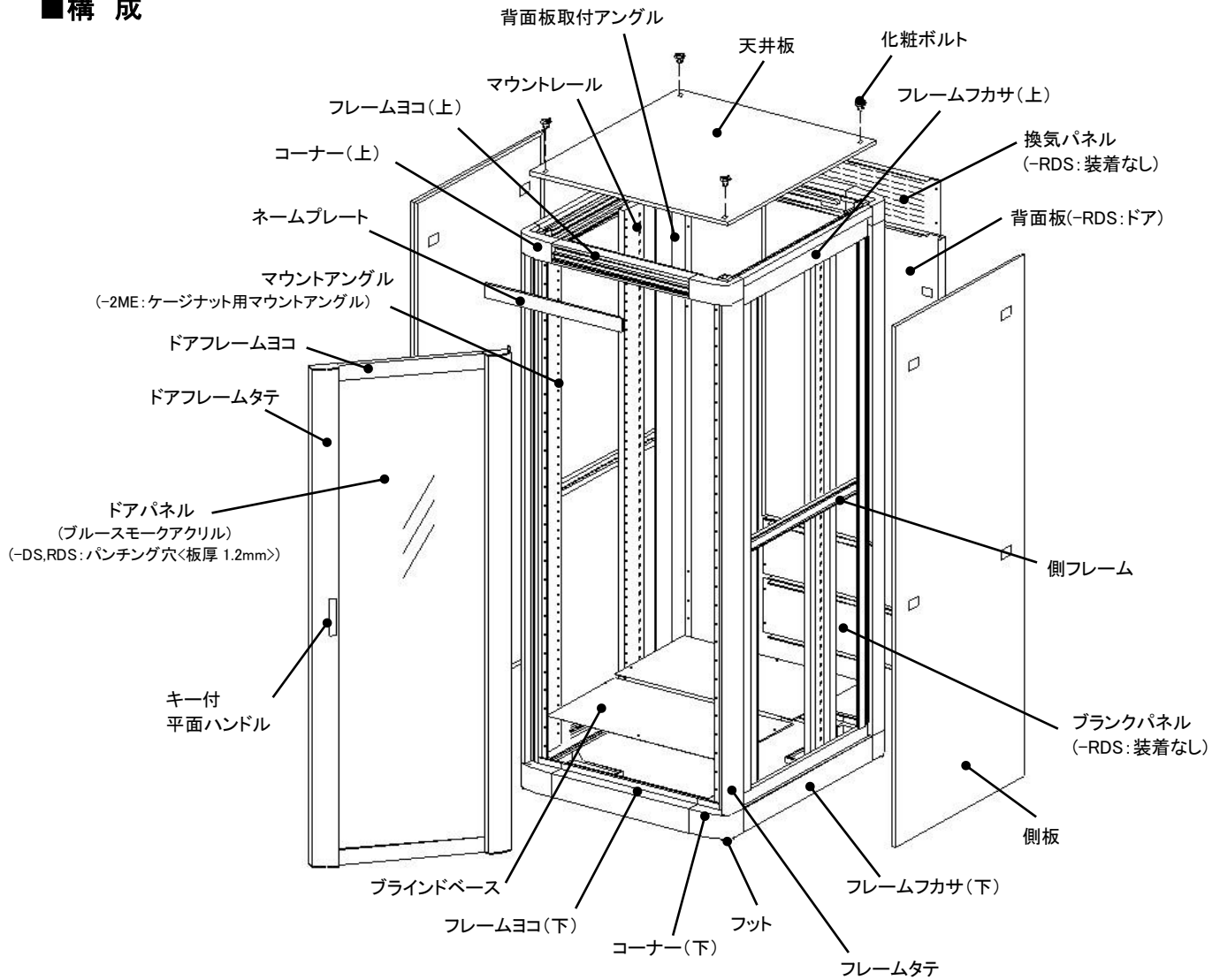
■輸送上のご注意

⚠ 注意			
	ラック内に機器を搭載した状態での輸送はしないでください。ラック及び機器の破損の恐れがあります。		本製品をベルトなどで荷台に固定する場合は、締めすぎないようにしてください。特に締めすぎを認識できないレバーブロックなどの荷締器具は使用しないでください。締めすぎにより、ドアの変形の恐れがあります。

■施工上のご注意(アンカー固定など)

⚠ 注意	
! 最小埋め込み深さ ボルト径 M12 60mm コーナー(下) 金属拡張アンカー (おねじ形) 60mm 以上 あと施工アンカー施工	! ラック本体底面の最外形寸法が前後方向 4 mm、左右方向 1 mm程度大きくなります。施工(位置決め)の際は注意してください。 ラック本体が水平に設置できるように、レベル調整を行ってください。設置に不備があると、ドアの開閉及び機器搭載に支障をきたす恐れがあります。

■構成



○仕様

部 品 名	材 質	板 厚	数 量
コーナー	アルミダイカスト	—	—
フレームタテ	アルミ型材	—	—
フレームヨコ	アルミ型材	—	—
フレームフカサ	アルミ型材	—	—
側フレーム	アルミ型材	—	—
ネームプレート	アルミ平板	1.2mm	2
マウントアングル	鉄	2.3mm	2
マウントレール	鉄	2.3mm	2
側板	鉄	1.0mm	2
天井板	鉄	1.0mm	1
背面板	鉄	1.0mm	1
換気パネル	鉄	1.0mm	1
ブランクパネル	鉄	1.2mm	2(1※)
ブラインドベース	鉄	1.6mm	2
フット	ナイロン	—	4
ドアフレームタテ	アルミ型材	—	—
ドアフレームヨコ	アルミ型材	—	—
ドアパネル	アクリル	3.0mm	1
化粧ボルト	ABS	—	4

※ H寸法 750 及び 1000 に適用します。

(ご注意)

- ・サーバを搭載する場合、各サーバによってレールの形状などが異なり、取付けが出来ない場合があります。
- ・化粧ねじ(RD75)又はケージナット(RD751)は付属されていないので別途ご用意ください。

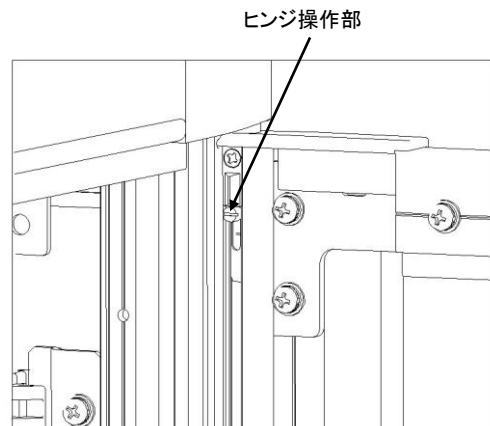
■外装パネルの着脱方法

(1)ドアの着脱方法

- ・ドアを 90° 以上に開けた状態で、ドアフレームに取付けられたヒンジ操作部を下にさげ、ドアを取外します。
- ・取外し時のヒンジ操作は、上部から行ってください。
- また装着の場合は逆の順序となります。

(ご注意)

- ・下部の蝶番ピンが確実に穴に入っていることを確認してから上部のピンを差込んでください。
- ・ドアを取付けた後に、ドアが外れないか、がたつきがないか確認してください。

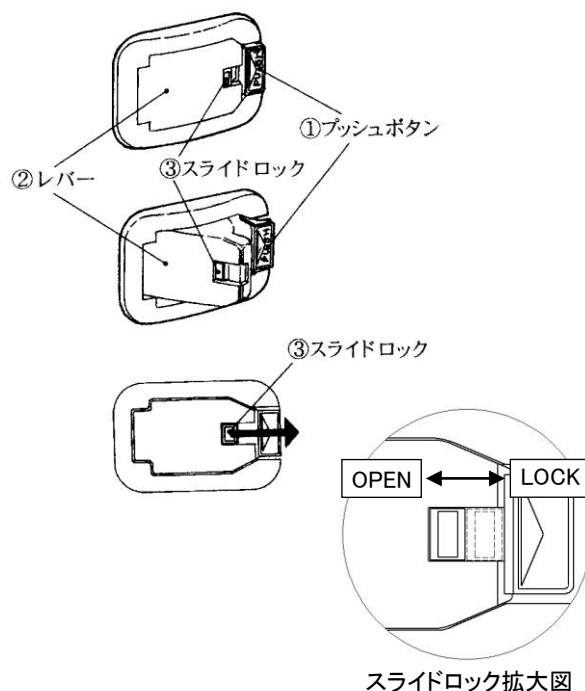


(2)ホールドラッチの操作方法

- ・側板や背面板の着脱は、ホールドラッチで行います。プッシュボタン①を押すとレバー②が跳上がり、外装パネルが外れます。また側板などを取付ける際には、レバー②を倒すとフレームに固定されます。
- ・不意なレバーの跳上がり防止のためにロック機構がついています。スライドロック③をスライドさせる事によりロックされます。スライドロックに「OPEN」「LOCK」の表示があり、状態を確認することができます。

(ご注意)

- ・外装パネルを取付けた後に、ラッチが確実に掛かっているか、がたつきがないか確認してください。



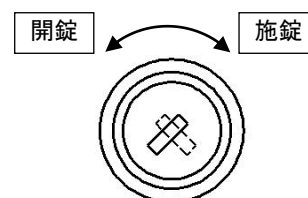
(3)カムロックの施錠・開錠方法

- ・組替仕様・側板鍵付タイプ(-SK)、の施錠・解錠は、カムロックにて行います。カムロックにキーを奥まで差込み、右回りで施錠、左回りで開錠されます。

(ご注意)

- ・施錠後に、確実にロックされているか確認してください。

カムロック正面図



⚠ 注意



ハンドル、側板などの鍵について、施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引抜かないでください。
無理に引抜くと、キーあるいは、シリンダーが破損する恐れがあります。

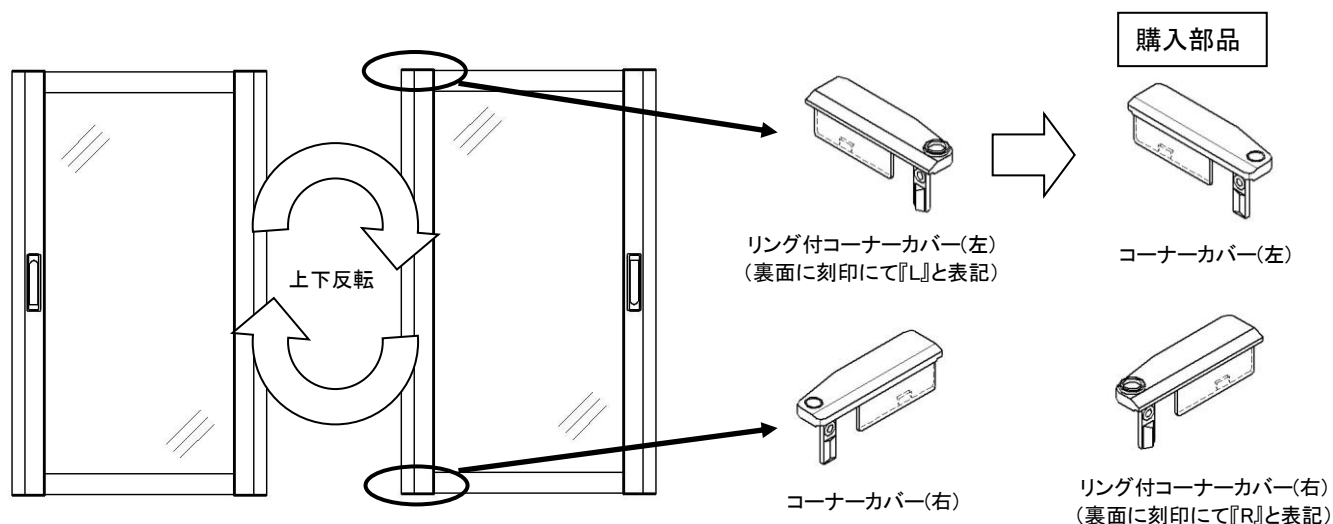
■ドアの左開きへの変更方法

(1) ドア組付部品の変更

(ご注意)

・ドアを左開きへ変更する場合は、コーナーカバー(左)及びリング付コーナーカバー(右)を各 1 個ずつ、別途ご用意ください。

① ドア本体の右上及び右下に取付けてあるコーナーカバーと、ご購入いただいた上記部品を下図のように交換してください。



② ハンドルを下図のように変更してください。

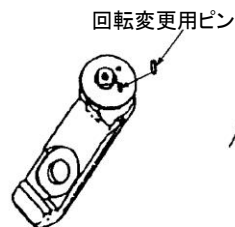
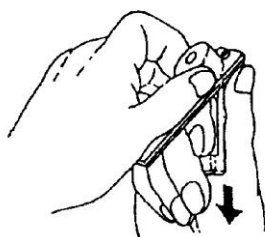
1) ベロの締付ねじを外し
ベロを取外します。

2) 図のような姿勢で
取手を下に引抜きます。

3) 図の位置にピンが挿入さ
れています。これを下向
きにしてピンをなくさない
様にして外します。

4) 図の穴位置にピンを
挿入します。

5) 図のような姿勢で取手を
本体に確実に組込みます。



⚠ 注意



ハンドルの着脱はドアを外して作業をしてください。取付け
たまま作業をしますと、部品、ねじなどが落下する恐れが
あります。

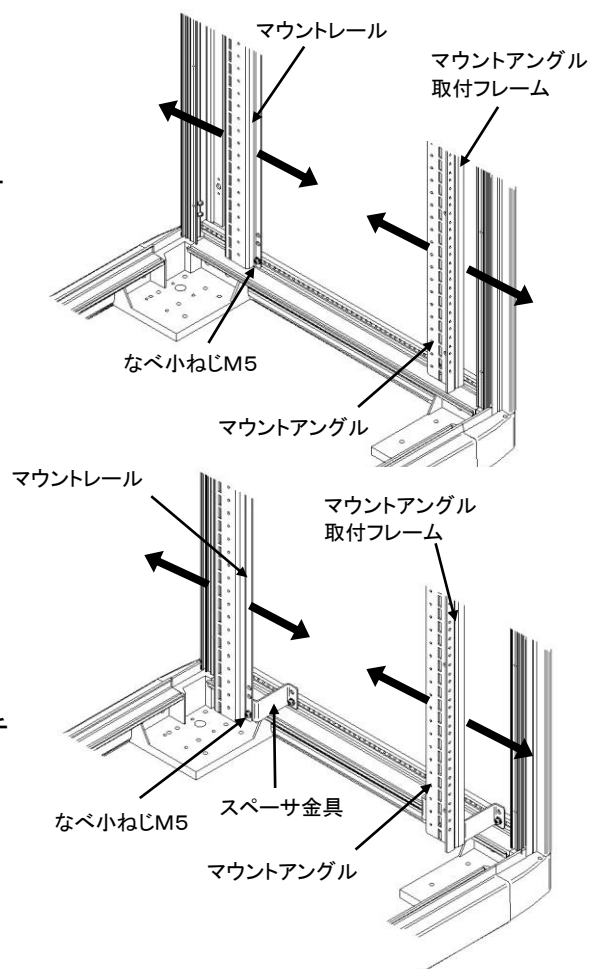
■マウントアングル・マウントレールの移動方法

(1)【適用機種：(D)ARC□-57□E(J, DE)】

・「マウントアングル」「マウントアングル取付フレーム」「マウントレール」を取付けているねじ(なべ小ねじ M5)を取外しますと、マウントアングル及びマウントレールの前後移動が 10mm ピッチで可能です。

(ご注意)

- ・マウントアングルとマウントレール間のピッチを変更しますと、下記「表 1」のオプションが取付けできない場合があります。
- ・ドアなしタイプにおいて、マウントアングルを後方に移動するには、マウントアングル取付フレームが必要となりますので別途ご用意ください。



(2)【適用機種：DARC□-7□E】

・「マウントアングル取付フレーム」「マウントレール」を取付けているスペーサ金具のねじ(なべ小ねじ M5)を取外しますと、マウントアングル及びマウントレールの前後移動が 10mm ピッチで可能です。

(ご注意)

- ・マウントアングルとマウントレール間のピッチを変更しますと、下記「表 1」のオプションのが取付けできない場合があります。

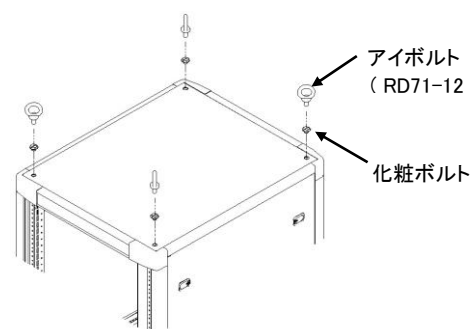
表 1

スリット付台板セット……………(RD152-□S)	重量用スライド式台板セット……………(RD161-□ES)
スリット付スライド式台板セット……………(RD162-□S)	L型レール……………(RD65-□PW(K))
重量用台板セット……………(RD151-□S)	線止めバー……………(RD83-D□)
山型レール……………(RD62-□)	

■各種オプションの取付方法

(1)アイボルト(RD71-12)

・天面の化粧ボルトを取外し、アイボルト(M12)を取付けます。

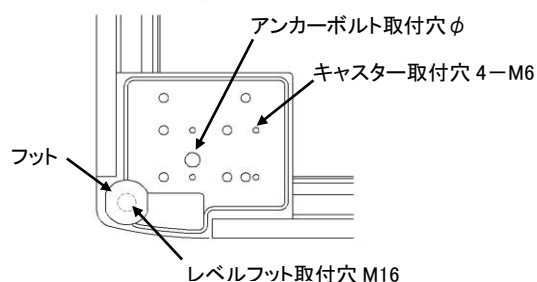


(2)キャスター(RD72-6H, 6HS, 7, 7S)

・ラック本体底面のキャスター取付用穴 4-M6 に取付けてください。

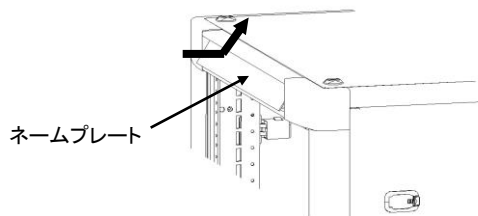
(3)レベルフット(RD73-9)

・標準で付いている底面のフットを取外し、レベルフット(M16)を取付けてください。



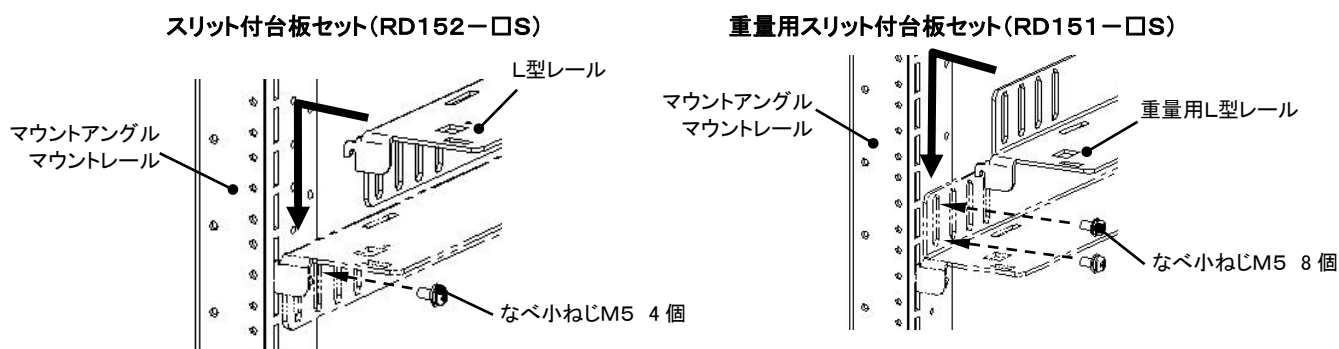
(4)ネームプレートの取外し

・ネームプレートを取外す際は、ネームプレート上部を押し、上方向にスライドさせ取外します。また、装着の際は逆の手順となります。

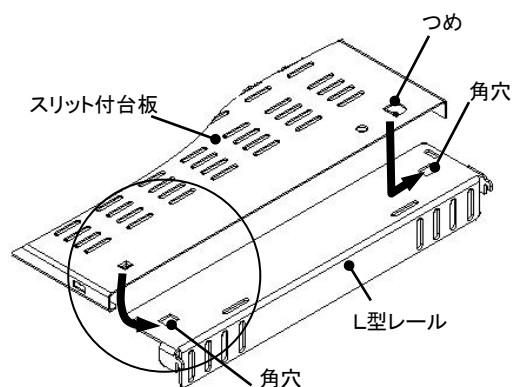
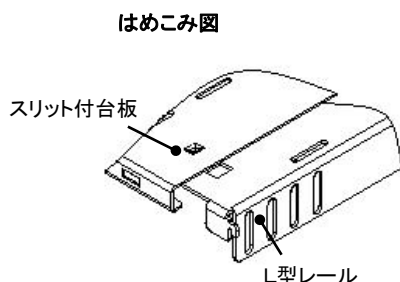


(5)スリット付台板セット(RD152-□S)・重量用台板セット(RD151-□S)

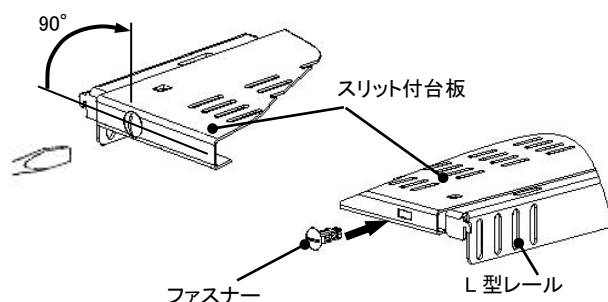
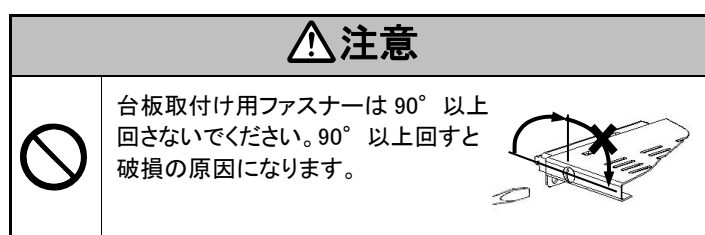
- ①L型レール(重量用L型レール)をマウントアングル(マウントレール)に引掛け、なべ小ねじM5にて固定してください。



- ②台板のつめをL型レールの角穴に乗せてください。
台板の前側を20mm 持上げた状態で後部のつめがL型レールの角穴にかかるように押込み、台板の前面をL型レールにはめ込んでください。



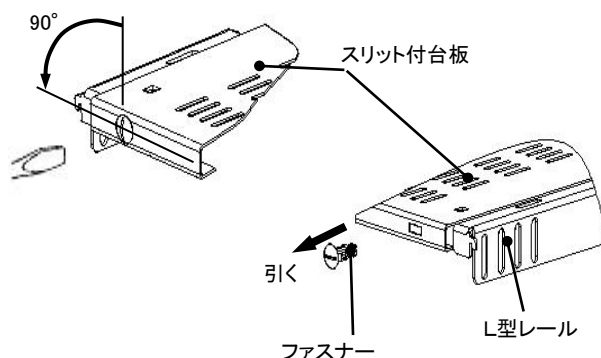
- ③ファスナーを前面の穴に差込み、マイナスドライバー等で時計回りに90° 回転させてください。



- ④台板を外す際は、ファスナーを反時計回りに90° 回転させロックを解除します。ファスナーを前面に引いた状態で台板を外してください。

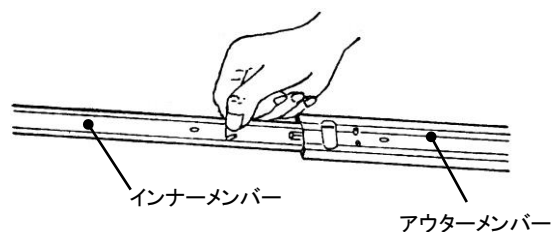
(ご注意)

台板に物を置く際は、耐震対策として固定ベルト(RD821)などで固定してください。

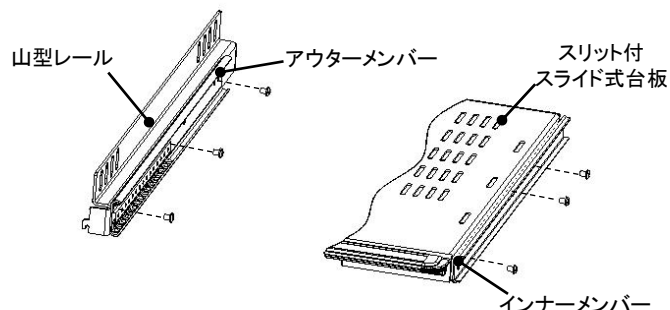


(6)スリット付スライド式台板セット(RD162-□S)

- ①スライドレールのインナーメンバーを引出します。
ロックを解除し、インナーメンバーをアウターメンバーから取外してください。



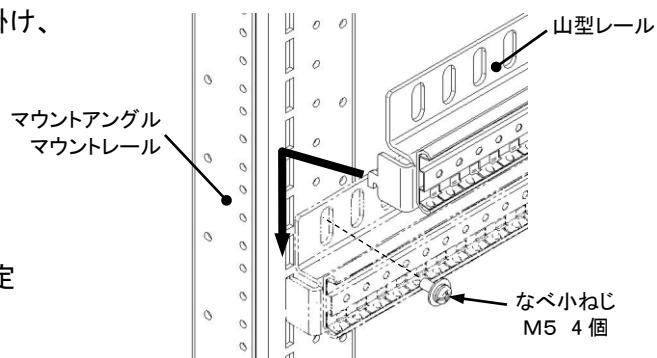
- ②山型レールにアウターメンバー、スライド式台板にインナーメンバーをねじ止めしてください。



- ③山型レールをマウントアングル(マウントレール)に引掛け、
なべ小ねじM5にて固定してください。
最後にスライド式台板をはめ込んでください。

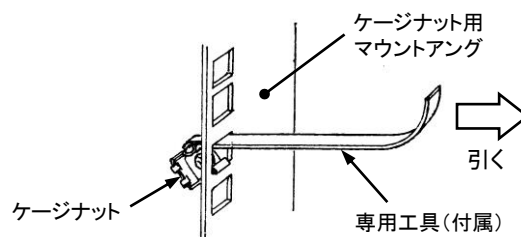
(ご注意)

- ・取付け後、2～3回スライドさせスムーズに
出入れできるか確認してください。
- ・スライド式台板に物を置く際は、耐震対策として固定
ベルト(RD821)などで固定してください。



(7)ケージナット(RD751)

ケージナットのバネの一方をマウントアングルの
角穴に引掛けます。その後、専用工具または
マイナスドライバー等でもう一方のバネを角穴に
入れてください。



MEMO

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2011年8月現在のものです。

B885761922